

## 平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

### 1. 学校概要

学校名 金沢市立明成小学校 (※正式名称を記載)

種 別 ☐ 保育園・幼稚園 ☒ 小学校 ☐ 小中一貫<sup>※注 1</sup>

☐ 中学校 ☐ 中高一貫<sup>※注 2</sup> ☐ 高等学校

☐ 教員養成大学 ☐ 専修学校、各種学校

☐ 特別支援学校

☐ その他（例：小中高一貫）

※注 1 義務教育学校を含む ※注 2 中等教育学校を含む

所在地 〒920-0845

石川県金沢市瓢箪町 5-48

E-mail meisei-e@kanazawa-city.ed.jp

Website http://cms.kanazawa-city.ed.jp/meisei-e/

幼児児童生徒数 男子 150 名 女子 125 名 合計 275 名

幼児・児童・生徒の年齢 6 歳～12 歳

### 2. 報告期間

平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月

※報告書提出時点～平成 30 年 3 月末までの活動は、予定（見込み）として記載ください。

### 3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要（800 字程度＋活動内容を表す写真数枚）

※チェック事項 1-1、2-1 に対応

当校は、「感動と創造の教育～夢をもって生きる子どもたち～」を学校理念として、ESD を伝統文化の継承と捉え、ESD の実践を通して人間性豊かで心身共に健康な感性と創造性にあふれる子どもの育成を目標とした。

具体的には、自力解決力、かかわる力、生き方あり方を考える力を養うことを柱に、①伝統文化に係わる活動、②食育に係わる教育、③環境教育に係わる学習、④国際理解教育学習を行った。

#### ① 伝統文化に係わる活動

3 年生の 2 学期には、地域に伝わる獅子舞について詳しく調べた。1 月には明成ユネスコ交流会として、獅子舞の歴史や道具、舞い方などについて全校や地域の方に発信することができた。

4 年生の 2 学期には、金箔貼り体験や地域の加澤美照工房さんのご協力で加賀象嵌体験を行った。児童は職人さんの技に驚き、金沢が誇る伝統工芸品の美しさに魅了されていた。

## ② 食育に係わる活動

3年生の1学期には給食の残量調査を行い、「食」に目を向けた。同時に、金沢に根付く食文化である和菓子について調べた後、和菓子作り体験をした。3学期は和菓子文化と結びつく『茶道』について、校区にお住まいの先生をお招きして茶道体験をした。本校にある明成の間という茶室で、礼儀や作法についても教えていただき、金沢の伝統文化を強く印象付けることとなった。

5年生では、金沢の食文化を扱った。秋の遠足では、大野町の醤油や味噌、新鮮な魚介類に触れ、金沢の海沿地域の食文化を学んだ。また、加賀野菜を使用したお弁当作りのお手伝い・地域への配布をしたり、加賀野菜の一つである五郎島金時を使ったスイートポテト作りを学年活動として行ったりした。

## ③ 環境教育に係わる活動

5年生は、春の遠足で里山探検をして里山の自然を体全体で感じ、その後、里山について調べ、調べたことをもとに「里山クイズ」を作成した。そして、これまでの活動を「里山活動報告書」にまとめた。さらに、里山についての学習をするうちに見えてきた環境問題に目をつけ、酸性雨やオゾン層の破壊、地球温暖化など、様々な環境問題について調べ、よりよい暮らしのために自分たちにできることやしたいことを「環境問題提案書」にまとめた。

## ④ 国際理解に関わる学習

金沢の名所（金沢城、兼六園、21世紀美術館）に実際に出向きその魅力を自分の目で確かめた。児童間で見学してきたことを交流する中で、金沢のよさを意識できるようになってきた。自分が未来の金沢に残していきたいキーワードを中心に、金沢駅や近江町市場など観光客や地元の方が多く集まる場所で、インタビュー調査も行った。学習のまとめとして、パンレットや意見文を書き、明成ユネスコ発表会で他学年にも伝えた。



(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input checked="" type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input checked="" type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input checked="" type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input checked="" type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他( )		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入 )	

ウ. 活動時間（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述 )	

エ. 使用した教材（書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名）

こども金沢市史 など
------------

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（２００～３００字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

各教科、道徳、特別活動との相互の連携を図りながら、年間を通したトータルの資質・能力を生かした問題解決、人や社会・自然とのかかわること、自分の生活や生き方・あり方を考えることに繋がるよう指導・評価を行っている。さらに、全学年で、金沢や明成に愛着がもてるよう地域教材を教育課程に位置づけている。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（２００字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

教育課程に位置づけてある地域教材を活用している。  
子どもたちや教師が見通しをもって活動できるように、各学年の学習内容を全学年に広める『ユネスコスクールの広場』を設置し、年２回掲示した。また、３学期には、学習内容を発表する場『明成ユネスコ交流会』を設け、ワークショップ形式で実施した。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（２００字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

交流の場『明成ユネスコ交流会』を設けることで、体験や調べ活動を通して発見したことをまとめ、発信する力を身につけることができた。しかし、自ら問題を発見し、課題を解決しようとする積極的な姿を目指すことが課題である。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。（２００字程度） ※チェック事項 2-2 に対応

地域の方やお世話になった団体の方に発信するために、掲示板を活用したり、明成ユネスコ交流会に参加していただいたりした。地域とのつながりを感じることができ、さらに追究したいという意欲をもつことができた。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成（地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など）（２００字程度） ※チェック事項 2-3 に対応

明成のボランティア（獅子舞、ひょうたん）や金沢の伝統工芸の団体（金箔、加賀象嵌）に協力をお願いし、体験させていただいたり、教えていただいたりした。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成（２００字程度） ※チェック事項 2-4 に対応

特になし

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）  
※チェック事項 2-5 に対応

グループで交流する場『明成ユネスコ交流会』を実施することで、児童が意欲的に活動し、調べたことを進んでまとめようとする姿が見られた。また、他学年や地域の方に発信することで、地域に関心や愛着をもつことができた。

（3）平成 30 年度の活動計画（200～400字程度）

平成 29 年度同様、地域教材を活用していく。3 年生は地域の祭りである獅子舞踊りを、4 年生は金沢の伝統工芸である金箔や加賀象嵌体験を実施することで、地域の伝統文化に触れさせる。5 年生は里山の環境について学習することで、自然について関心を持たせ、実践していく力を養っていく。6 年生は地域の学習を通して未来を創っていく姿を目指したい。

3 学期には、学習したことをまとめ、発表する場『明成ユネスコ交流会』を実施し、各学年の交流をしていく。